

事後評価書

事業名	錦漁港海岸	海岸環境整備事業	事業区分	水産基盤整備事業（水産庁）	室名	水産基盤室																																																				
事業概要	工期 (下段当初)	平成8年～平成17年	全体事業費	1,551百万円（負担率：国1/3：県2/3）																																																						
		平成8年～平成17年	(下段当初)	1,485百万円（負担率：国1/3：県2/3）																																																						
事業目的及び内容		<p>事業目的： ① 海岸環境整備事業により、砂浜や付帯施設を整備することで海辺を活用したレクリエーション活動、地区外の方との交流、地区への経済効果を期待する場を提供すること。</p> <p>事業内容：突堤（L=240.9m）、離岸堤（L=120.0m）、養浜（A=3,000m²）、護岸（L=214.0m）、遊歩道（L=362.0m）、付帯施設（トイレ・シャワー棟）（1式）、駐車場（1式）、緑地・広場（1式）、植栽（1式）、人工池（1式）</p> <p>全体事業費：1,551百万円</p> <p>事業経緯： <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: top;"> <tr> <td>平成8年度</td> <td>実施設計等</td> </tr> <tr> <td>平成9年度～平成17年度</td> <td>突堤</td> </tr> <tr> <td>平成11年度～平成15年度</td> <td>離岸堤</td> </tr> <tr> <td>平成11年度～平成16年度</td> <td>遊歩道</td> </tr> <tr> <td>平成12年度～平成13年度</td> <td>護岸</td> </tr> <tr> <td>平成13年度～平成16年度</td> <td>養浜</td> </tr> <tr> <td>平成12年度～平成17年度</td> <td>付帯施設</td> </tr> <tr> <td>平成11年度</td> <td>駐車場</td> </tr> </table> </p> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: top;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>事業量</th> <th>事業費(百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>突堤</td> <td>L=240.9m</td> <td>582</td> </tr> <tr> <td>離岸堤</td> <td>L=120.0m</td> <td>261</td> </tr> <tr> <td>養浜</td> <td>A=3,000m²</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>護岸</td> <td>L=214.0m</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>遊歩道</td> <td>L=362.0m</td> <td>314</td> </tr> <tr> <td>付帯施設</td> <td>1式</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td>1式</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>緑地・広場</td> <td>1式</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>植栽</td> <td>1式</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>人工池</td> <td>1式</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td></td> <td>1,551</td> </tr> </tbody> </table>					平成8年度	実施設計等	平成9年度～平成17年度	突堤	平成11年度～平成15年度	離岸堤	平成11年度～平成16年度	遊歩道	平成12年度～平成13年度	護岸	平成13年度～平成16年度	養浜	平成12年度～平成17年度	付帯施設	平成11年度	駐車場	内容	事業量	事業費(百万円)	突堤	L=240.9m	582	離岸堤	L=120.0m	261	養浜	A=3,000m ²	170	護岸	L=214.0m	40	遊歩道	L=362.0m	314	付帯施設	1式	67	駐車場	1式	43	緑地・広場	1式	40	植栽	1式	21	人工池	1式	13	事業費合計		1,551
平成8年度	実施設計等																																																									
平成9年度～平成17年度	突堤																																																									
平成11年度～平成15年度	離岸堤																																																									
平成11年度～平成16年度	遊歩道																																																									
平成12年度～平成13年度	護岸																																																									
平成13年度～平成16年度	養浜																																																									
平成12年度～平成17年度	付帯施設																																																									
平成11年度	駐車場																																																									
内容	事業量	事業費(百万円)																																																								
突堤	L=240.9m	582																																																								
離岸堤	L=120.0m	261																																																								
養浜	A=3,000m ²	170																																																								
護岸	L=214.0m	40																																																								
遊歩道	L=362.0m	314																																																								
付帯施設	1式	67																																																								
駐車場	1式	43																																																								
緑地・広場	1式	40																																																								
植栽	1式	21																																																								
人工池	1式	13																																																								
事業費合計		1,551																																																								
1. 過去の再評価時の意見及びその後の対応																																																										
再評価対象事業の要件に該当しない。																																																										
2. 事業の効果																																																										
<p>1. 事業の効果</p> <p>①直接効果</p> <p>【利用面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 湾奥に位置し波が穏やかな海岸であるため、海水浴の時期には地区内外から多くの子供連れの方などに利用されている。 海浜には養浜や遊歩道等の整備により、地域の方の日々の憩いの場やレクリエーション・イベント活動の場（町主催の花火大会・地域交流の祭り等）として利用されています。 事業計画時の約3,300人の見込みに対して、平成22年度は約11,400人の利用者（県内をはじめ、愛知県・関西地方より）であったため、利用者人数の面では、整備による効果がでているものと考えられる。 <p>2. 事業効果の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年時点でB/Cは、1.43である。 																																																										
3. 事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化																																																										
<p>1. 環境面に対する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 磯遊び場の整備や、離岸堤・突堤の基礎工、被覆材料に自然石を利用したことにより、新たにエビやカニ、貝類等の生息域が創出されている。 また、漂着ゴミ流入防止ネットによる流入ゴミの抑制とともに、台風後の清掃活動を町と連携して取り組んでいる。 																																																										
4. 事業を巡る社会経済情勢等の変化																																																										
<p>1. 道路の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 紀勢自動車道が、平成21年2月に、紀勢大内山インターチェンジまで開通しました。 以前は、錦地区に向かうには、主に国道42号線を利用していましたが、紀勢自動車道の開通により、当該地域へのアクセスが、非常に便利となり、今後とも、県内外からの、来訪者の増大を期待している。 <p>2. 海水浴客の避難体制等</p> <ul style="list-style-type: none"> 大紀町が進める津波対策として、海水浴場の横に避難階段を整備している。 また、海水浴場の入り口等の目のつく場所には、避難標識を設置している。 																																																										

5. 県民の意見

1. アンケートの概要

・平成23年7～8月に錦漁港海岸の利用者（316名）及び錦漁港海岸周辺住民（110名）の計426名に対してアンケートを実施

2. 住民のアンケート結果

2-1. 事業による自然環境や生活環境への効果・影響

○効果

順位	事業による効果	人数	選択率
1位	子どもを遊ばせる場が出来た。	69人	63%
2位	砂浜が増えたので環境が良くなった。	39人	35%
3位	人が訪れるようになって活気がでてきた。	37人	34%
4位	水辺に近づきやすくなった。	28人	25%
5位	余暇を過ごす場が出来た。	24人	22%

○負の影響

順位	事業による影響	人数	選択率
1位	人が訪れるようになってゴミが増えた。	34人	31%
2位	周辺への違法駐車が多くなった。	16人	15%
3位	人が訪れるようになって交通渋滞して不便になった。	2人	2%

2-2. 遊パーク周辺の今後の課題

順位	遊パーク周辺の今後の課題	人数	選択率
1位	ごみの処理が必要である。	47人	43%
2位	トイレやシャワーの付帯施設のメンテナンスが必要。	23人	21%
3位	休憩施設を増やして欲しい。	19人	17%
4位	駐車場にとめられる台数を増やして欲しい。	18人	16%

3. 海水浴場利用者のアンケート結果

○満足な点

順位	満足な点	人数	選択率
1位	波が穏やかで、海水浴等の利用がしやすい。子供を遊ばせやすい。	226人	72%
2位	水辺が美しく、眺めがよい。	205人	65%
2位	砂浜が手入れされていて、海水浴等の利用がしやすい。	205人	65%
4位	駐車場が近くにあってよい。	193人	61%
5位	シャワー・トイレ等が利用しやすい。	182人	58%

○不満な点・要望

順位	不満な点	人数	選択率
1位	駐車場スペースを広くして欲しい。	48人	15%
2位	磯場等の生き物の生息場を増やしてほしい。	18人	6%
3位	海面や砂浜にゴミが多い。	16人	5%
3位	シャワー・トイレ等が利用しにくい。	16人	5%
5位	海水浴等の利用には広さが狭い。	13人	4%

4. 住民・海水浴利用者自由回答

【満足な点、事業による効果】

- ・小さな子供が安全に遊べる。【計24人】
- ・波が穏やかで利用しやすい。自然が多く景色がよい。美しくゴミがない。きれい。【計21人】

【不満な点、事業による影響】

- ・ゴミが放置され、マナーが悪い。人が訪れるようになってゴミが多くなった。【計10人】
- ・トイレやシャワー室が汚い。有料化し綺麗に使えるとよい。【計9人】

【要望等】

- ・もっと情報を発信し発展してほしい。町で唯一の海水浴場であるから、町内外の人にもっと知ってほしい。設備はつくって立派になったが、ソフトが充実していない。PR不足。Web等の情報が少ない。【13人】
- ・整備された浜、施設を有効活用して欲しい。冬場が休眠状態なので冬になにか利用出来ないか考えてほしい。町民全体で考え、いいアイデアを出して、年間通じて利用出来る様になるとよい。【8人】
- ・売店、コンビニ、飲食店等が周辺にあるとよい。【8人】

6. 今後の課題等

1. 事業実施による課題と留意点

- ・海水浴場の利用者増によるゴミ処理や駐車場不足の問題に対する取組みが必要である。
- ・本事業は県と町との連携事業であり、今後も地域の活性化に繋がるよう、ハード・ソフト両面の改善と維持管理に連携して取り組んでいく必要がある。

2. 課題への対応方針（改善措置）

- ・来訪者に対するマナー向上啓発看板の設置を検討していく。
- ・地域（町、地元団体、住民）と連携した観光PRを行う。
- ・年間を通して施設を利用してもらえるよう、地魚を活用したイベント等の開催を大紀町、漁協等と連携し推進していく。

錦漁港海岸 位置図

